



2022年(令和4年)

9月

No.731 since1961

広報 しばた



夏休みは苦手克服にチャレンジ

夏休みも残りわずかとなった8月中旬。町内の小中学校では夏休み学習会が行われ、学びの支援員の先生や大学生が子どもたちに勉強を教えました。

新学期に向け子どもたちは苦手な科目や夏休みの宿題を一生懸命取り組んでいました。

【8月17日(水) 船岡小学校】

「町長へのメッセージ」についてお答えします

町民の皆さんから、より良いまちづくりへのご意見、ご提案をいただく「町長へのメッセージ」。令和3年度は、192件の貴重なご意見などをいただきました。その中から一部を紹介します。

問 まちづくり政策課 TEL54-2111

防犯灯について

最近、柴田町に引越してきました。今住んでいるところは街灯が少なく、夜はとても暗く困っています。どうか街灯を増やすことができないでしょうか。

町の対応

ご指摘の街灯は、町では防犯灯と呼び、町内に約3,600基設置されています。防犯灯の新設については、地域をつなぐ交通量の多い幹線道路を町で整備し、地域内の生活道路については、行政区が必要を判断し、区の予算で計画的に整備しています。今後も町では学校周辺や通学路を優先して計画的に防犯灯を設置してまいりますので、ご理解ください。
なお、現在設置されている蛍光灯や水銀灯型の防犯灯約3,000基を、明るく

く長寿命のLED灯に更新する作業を令和4年9月から令和5年3月までの期間で実施予定です。

更新には工事が伴うことから、通学路など緊急性の高い場所を除き、照明の切れている防犯灯の復旧に時間がかかる場合があります。

もえるごみ・もえないごみ 共通袋のサイズについて

もえるごみで庭木を剪定した枝を捨てるのに、袋が小さくて不便です。直接持ち込みする量でもないため、今のLサイズより大きく、木の枝を入れてもやぶれないうような袋を作ってもらえないでしょうか。

町の対応

現在使用しているごみ袋は、柴田町を含む2市7町で統一されたごみ袋です。このごみ袋の導入に当たっ

ては、持ち運びやすさや処理施設での処理のしやすさといった観点から、サイズや袋の厚さを定めています。サイズは集積所の管理やごみ収集車への積み込みの重さなどの制約があり、また、厚さも処理施設である仙南クリーンセンターの機械の処理能力をふまえ、これ以上大きくしたり厚くすることはできません。

剪定枝などを捨てる際には、袋をいくつかに分けたり、袋が破れない大きさにカットするなどして集積所に出してください。

ひとり親家庭の児童を対象とした無料の塾の開設について

近隣の市では、ひとり親家庭や子どもが多い世帯などで塾に通えない子どもたちのために、無料の塾があります。どんなに頑張っても子どもを塾に通わせるこ

とができない親もいるので、ぜひ柴田町でもこのような取り組みをしてもらえると嬉しいです。

町の対応

町内各小中学校では、放課後時間を活用し学校の図書館などで、家庭学習の習慣化や学力向上を目指すことを目標に「放課後学習室」を実施しています。曜日や時間帯などは、各学校の実情に合わせて、特別教育支援員、元教員、学生などが学び支援員として子どもたちの指導を行っています。

今年度も6月からスタートしています。子どもたちを通して、学校から「放課後学習室」のお知らせを配布していますので参加を希望される場合は、お申込みいただければと思います。

白石川河川敷の町道への 車両通行規制について

槻木から船岡、大河原町へ延びる白石川の河川敷は、景色もきれいでジョギングなどで利用しています。ですが、車両の通行量が多く速度も出ているため、すれ違う時に危険を感じます。歩行者と車両を分けてもらえないでしょうか。

町の対応

白石川河川堤防上の道路は、県が管理する河川区域を町道として認定しているものです。道路の幅員は、2・5m程度と狭いわりに朝の通勤時間帯は車が数多く利用しています。また、散歩を楽しむ方々も多いことは把握しています。本来であれば、車両と歩行者を分けることができれば、両者にとってベストなことですが、住宅が堤防に

近接している区間が多く、道路を拡幅するスペースを確保することは困難な状況です。

次に、この区間が通行規制などにより歩行者と車両を分けることが可能か、規制に関する権限を有する大河原警察署に確認したところ、「車両の進入禁止等の交通規制を実施した場合、生活道路として利用している周辺の車両についても規制が及ぶことから、地域住民や道路利用者との合意がなければ、通行規制を掛けることはできない」との回答でした。

町としても、交通事故のない安全・安心なまちづくりは大変重要と認識していますので、この区間の設置可能な箇所へ、注意を促す看板等を設置するなど、可能な範囲で安全対策を検討してまいります。

耕作放棄地の 貸し出しについて

柴田町に住んでみて思ったことは、耕作放棄地が思いのほかあることです。今、家庭菜園や農業が目立っています。そんな耕作放棄地を町が貸出農園として、借りたい人に仲介すれば、敷居が高い農業を気軽に始められるのではないのでしょうか。

町の対応

耕作されていない農地の増加と荒廃化の原因として、農家の高齢化による担い手不足や離農により管理されなくなったことなどが考えられます。農地は、貸し借りや売買などの使用・所有に関して「農地法」の規制があるため、町農業委員会が年間を通して農地の利用状況を調査し、農家間での農地の貸し借りの相談や調

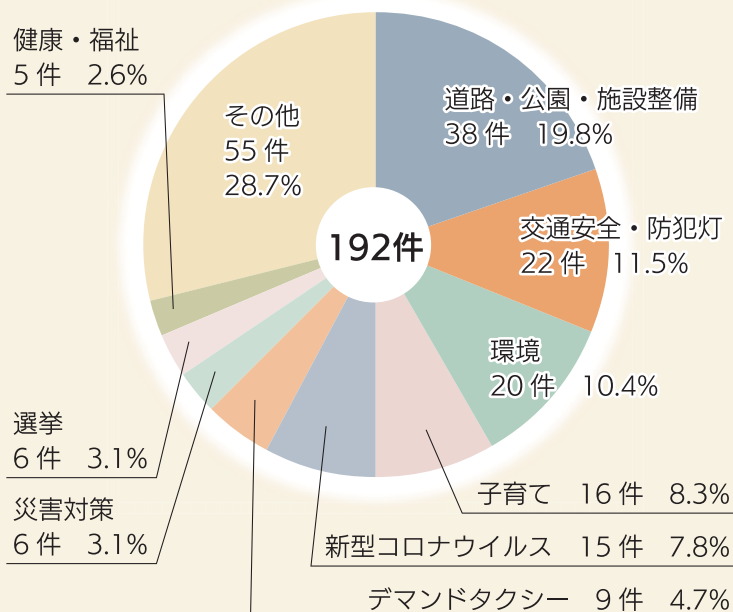
整により耕作放棄地が有効利用されるように努めます。

一方で、家庭菜園程度の耕作を希望される町民の方のため、町では市民農園を農家の協力を得て町内3カ所に整備しています。新たに市民農園を開設する予定はありませんが、農地を借りて耕作を希望する場合に

は、町農業委員会へご相談ください。

お願い
大変貴重なご意見などを匿名でお寄せいただくことがあります。匿名でいただいても、回答することができませんので、「氏名」「住所」を明記してお寄せください。

いただいたご意見(192件)の内訳



将来のまちの都市像を示す

柴田町 都市計画 マスタープラン ・ 立地適正化計画

問 都市建設課 TEL.55-2120

柴田町では、持続可能なまちづくりを推進していくために、「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考えのもと、長期的な都市づくりの方向性を示す柴田町都市計画マスタープランと、立地適正化計画を策定しました。

都市計画マスタープランを踏まえ、医療施設、福祉、商業などの生活利便施設がまとまって立地するように長い時間をかけながら誘導を図り、また地域交通の再編や、公共施設の再配置により都市機能の空洞化を防ぐことを目的としています。

この二つの計画を基に、人口減少や少子高齢化時代を迎えた中で、高齢者や子育て世代にとって、健康で快適な生活環境を確保し、持続的な都市経営とコンパクトなまちづくりを推進していきます。

立地適正化計画とは、都

都市計画マスタープラン

年次目標 令和22年(2040年) 将来人口34,000人

今後の都市のあるべき姿(将来像)とそれを実現するための3つの基本目標を設定し、都市計画マスタープランの基本理念とします。さらに8つの都市づくりの基本方針を示します。

将来像

花と緑豊かで安心して快適に住み続けられるまち ~四季折々の彩と賑わいのあるガーデンシティ~

基本目標

1 【交流・連携・定住】

豊かな自然と共生し、安全・安心のまちづくり

- 基本方針
- ①コンパクトなまちの継承と高質化
 - ②交流・連携を育む都市機能の誘導
 - ③四季折々の美しい都市空間の形成
 - ④歩いて暮らせる都市構造の構築
 - ⑤身近な健康づくりの場の確保

基本目標

2 【安全・安心】

花と緑につつまれた、笑顔あふれるまちづくり

- 基本方針
- ⑥安全・安心な都市構造への誘導
 - ⑦豊かな自然と共生した防災意識社会の構築

基本目標

3 【風景の保全・活用】

花と緑豊かで安心して快適に住み続けられるまち

- 基本方針
- ⑧歴史ある自然景観の継承・保全・活用

将来都市構造図



立地適正化計画

人口減少や少子高齢化に対応した持続可能な都市経営を可能とするため、高齢者や子育て世代をはじめ住民が過度に自家用車に頼ることなく公共交通により医療・福祉施設や商業施設などにアクセスでき、日常生活に必要なサービスや行政サービスが住まいなどの身近に存在する「コンパクト・プラス・ネットワーク」を基本とする都市づくりを進めていくことが重要です。

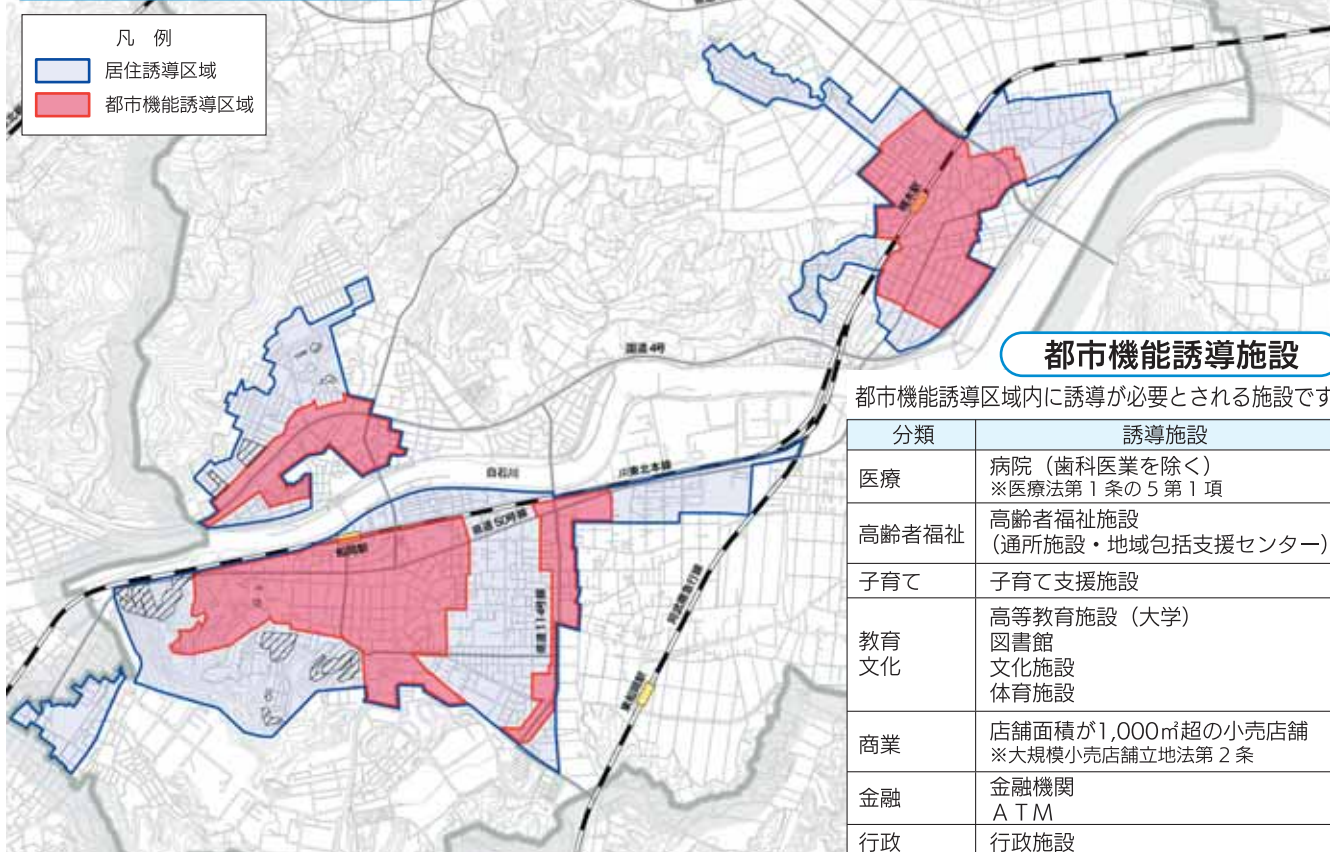
立地適正化計画は、居住に関わる医療施設、福祉、商業などの生活利便施設がまとまって立地するように、長い時間をかけながら誘導を図り、コンパクトで持続可能なまちづくりを推進するものです。

基本方針

安全な地域への誘導によるコンパクトで持続可能なまちづくり

主な区域	基本的な考え方
居住誘導区域	暮らしを支える生活サービス機能や交通環境が確保された災害リスクが少ない範囲において、歩いて暮らせる安全・安心な住環境の形成を図る区域。
都市機能誘導区域	市街地や周辺地域との交通利便性が高い地域で、医療、福祉、子育て、商業などの都市機能誘導施設が充実し、町民の暮らしを支えることが持続的に可能な拠点となる区域。
都市拠点地区	船岡市街地の「行政・商業・業務拠点」を主として、医療、商業、図書館や大学などの文化施設、行政施設からなる都市機能が集積し、今後とも維持・充実が必要となる地区。
地域生活拠点地区	船迫、槻木、東船岡地区の地域生活を支える「地域生活拠点」として、医療、商業、行政施設などの都市機能が集積し、今後とも維持・充実が必要な地区。東船岡地区に建設が進められている体育館を主として、スポーツ・防災機能を有する拠点として、今後形成していく地区。

誘導区域・誘導施設の設定



新型コロナウイルスの影響により、各地区で行われていた敬老会の多くは今年も中止となってしまいました。一年に一度お会いする方もいらつしやるだけにとても残念です。

今回、町の敬老対象者となる75歳以上の方々は、戦前戦後の混乱期を乗り越え、日本の高度経済成長の中で猛烈社員として働き、また、バブル崩壊を経験した後は、失われた20年といわれる経済が低迷した中で人生を歩んでこられました。

私たちは皆さんの頑張りがあって、便利で豊かな生活を手に入れることができたわけですが、ここに来て、人と人の関係性の希薄化や、また悲惨な事件や事故の発生、さらに地震や豪雨などの自然災害の多発化によって、漠然とした不安や孤独感を感じながら生きざるを得ない世の中となってしまいました。

人生80年時代から人生100年時代を迎えた今、残された晩年をいかに元気で楽しく生きていくかは、一人一人の人生観によって大きく左右されます。

高齢者の日常的な過ごし方の多くは、買い物、散歩やウォーキング、旅行となつて

人生100年時代を生きる

います。病気や介護への不安はあるものの、皆さんが有効に時間を使われているのは心強い限りです。

「健康で長生き」は誰もが望むところなのですが、私の立場からすると少し気がかりな点もあります。それは地域の中に一人暮らしの高齢者が多くなり、また、隣近所とのつながりが薄れてきたことで、

いざ病気や災害が起きた時に、誰が高齢者を支援していくかという問題です。町の職員約300人で約1万1千人余りの高齢者一人一人の生活をサポートしていくことには、おのずと限界があります。やはり、地域において「人生、助けられたり、助けたり」の精神を地道に醸成していく以外に対応策はないのかもしれない。

幸い、柴田町では、各地区の役員さんなどが敬老会やいいの日、お祭り、防災訓練などを企画し、実行してくれています。大変ありがたいことです。ぜひ、高齢者の皆さんも積極的に地区の行事などに参加していただき、地域の方とつながり、住み慣れた地域で安心して人生100年時代を過ごしていただければと思います。

来年こそは、敬老会で皆さんとお会いしたいものです。

**9月26日～10月31日
まで通行不可**

**役場庁舎・保健センター
駐車場整備工事に伴い
駐車場の一部を
規制します**

役場・保健センター東側駐車場の整備工事に伴い、駐車場への出入りや駐車スペースの利用の一部を規制します。工事期間中は案内板や誘導員の指示に従いご利用ください。ご理解とご協力をお願いいたします。

問 財政課 Tel.55-2278

工事期間

- 9月24日まで
※通り抜けは可
- 9月26日～10月31日まで



第94回のテーマは、 「今日からはじめる健康づくり」です。

9月は健康増進普及月間です。町では、健康づくりへの取り組みを推進するため、18歳以上の方を対象に「しばた健康づくりポイント事業」を実施しています。対象事業に参加し、10ポイント貯めると図書カード（500円分）または牛タンカレーと交換できます。今回は、おうちでも気軽に取り組める「健康1ヶ月チャレンジ」を紹介します。

30日間続けて、ポイントゲット 「健康1ヶ月チャレンジ」の4Step

Step 1 記録用紙を用意する

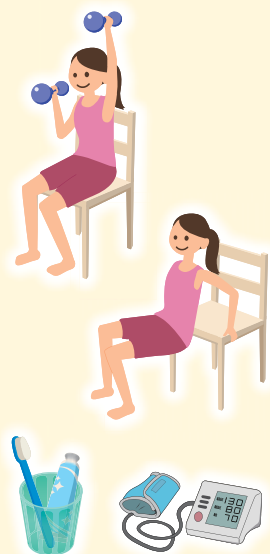
配布場所／健康推進課、各生涯学習センターなどで配布するほか、町ホームページからダウンロードできます。

Owebで「柴田町 健康1ヶ月チャレンジ」で検索

Step 2 チャレンジ目標を選ぶ

8種類の目標の中から、取り組むものを1つ選びましょう。

運 動	筋力トレーニングを含めた1日30分以上の運動をする
食 事	減塩する(麺類の汁は残す、調味料の使い過ぎに注意するなど)
	普段の水分補給は水かお茶など無糖のものにする
	就寝前2時間以内は食事・間食をしない
歯	朝・昼・夕、毎食野菜を食べる
たばこ	禁煙する(現在、たばこを吸っている方のみチャレンジ可)
その他	1日1回「体重」または「血圧」を測定する



Step 3 目標に取り組む

チャレンジ開始期間内にスタートし、目標に取り組んだ30日間の記録をつけます。

チャレンジ開始期間／9月1日(木)～令和5年1月31日(火)



Step 4 記録用紙を提出する

記録用紙と健康づくりポイントカードを健康推進課に提出します。30日間のうち24日以上取り組むことができたなら1ポイントゲット。健康づくりポイントカードをお持ちでない方も、記録用紙の提出時にポイントカードを発行します。

提出期限／令和5年3月16日(木)まで直接下記へ。

期間中、1人5回まで参加が可能で、最大5ポイント獲得できます。健康づくりは継続することで効果が現れます。まずは1カ月間続けることを目標にし、少しずつ習慣づけていきましょう。

図健康推進課 TEL55-2160



私たちとSDGs 連載⑫

問まちづくり政策課 TEL54-2111

ゴール 12. つくる責任 つかう責任

私たちがこのままの生活を続け、意識せずにモノを消費し続ければ、石油や天然ガスなどの天然資源のほとんどは、100年以内に尽きてしまうと言われています。

地球環境に配慮した「循環型社会」をつくるために、リデュース(ゴミを減らす)・リユース(繰り返し使う)・リサイクル(資源として再利用する)の「3R」が大切です。不要な袋や包装を断ったり、壊れたら修理して使うことも有効です。

まちかど NEWS



約500の方が訪れました。



中学生の職業体験ブースも好評でした。

しばたJam+Jam手作り市 NEWS

7月24日(日)、しばたの郷土館を会場に「しばたJam+Jam手作り市」が、4年ぶりに開催されました。

ハンドメイドアクセサリーなどの販売や、飲食、ワークショップなど、計20ブースが出店し、訪れた方は好みの雑貨を買い求めていました。

大河原商業高校で開発した商品などを販売した加藤颯人さん(2年生)は、「普段は学校以外の人と話す機会が無いので、いい経験になりました」と話してくれました。

シニア・ジュニアリーダー研修・交流会 NEWS

7月27日(水)から29日(金)まで、姉妹・歴史友好都市である北海道伊達市のシニアリーダーと、福島県新地町、亘理町、山元町と柴田町のジュニアリーダーが一堂に会する研修・交流会が行われ、情報交換や交流を通じてレクリエーションなどのスキルを磨きました。

柴田町ジュニア・リーダーサークル「かぐや姫」の大槻穂乃夏さんは、「最初は緊張しましたが、他の地域の同年代のみんなと仲良くなれて貴重な経験ができました」と話してくれました。



さまざまなグループワークで交流を図りました。

広 告

広 告

夏野菜を味わいつくす



なすやオクラ、ズッキーニが鮮やかな、人気の夏野菜カレー。

7月29日(金)、30日(土)、柴田町観光物産交流館さくら里で、しばた夏野菜フェアが開催されました。町内の農家が生産する新鮮な夏野菜の直売のほか、暑いこの時期にぴったりな夏野菜カレーやおつまみセツトが販売されました。友人と訪れたという水野希美さん(福島県)は、「いろいろな夏野菜が盛り付けられていて、見た目もかわいらしく、次はどの野菜を食べようかワクワクするカレーでした」と話してくれました。

水鉄砲で夏の暑さを吹き飛ばす



水鉄砲を抱えて全力で走り回りました。

8月6日(土)、船岡生涯学習センターで柴田町ジュニア・リーダーサークル「かぐや姫」の主催で「ウォーターガン合戦」が行われました。夏休み子どもたちのために企画した水鉄砲でのサバイバルゲームで、全身びしょ濡れになりながら熱戦を繰り広げていました。参加した児童は、「みんなではしゃいだりするのがとても楽しかったです。また同じようなイベントがあれば参加したいと思いました」と感想を話してくれました。



今後も月4回程度、チャレンジショップを継続していく予定です。

地域おこし協力隊チャレンジショップ

8月9日(火)、23日(火)、30日(火)の3日間、カフェ＆コワーキングKitaiで、地域おこし協力隊の平塚隊員が蕎麦をタイ料理にアレンジしたオリジナルメニューを提供しました。平塚隊員は、「将来、町内の蕎麦屋の開業を目指していますが、蕎麦と元々経験のあったタイ料理を合わせることで自分らしい料理ができたと思います。ぜひ皆さんに食べていただきたいです」と話していました。

広告

広告



こうほう 文芸

短歌

朝一番大丈夫なのと母は言う
朗朗介護の日々はつづくよ
断捨離と思いつきの音階奏でる
孫がつまびき音階奏でる
青空とみどりが囲むグラウンドに
ボール打つ音今や青隣
初秋の風は涼やか夏祭り
集いは和む心行くまで
コロナ禍で会えぬ孫への盆玉は
悪戦苦闘の電子マネー
みどり濃きしだれ桜はたてがみを
揺さぶるように大地に額すく

船岡 つかのめけいこ
北船岡 日下 功
梶木 平間 三郎
西船岡 下浦 智子
船岡 可沼 妙子
西船岡 臥竜の娘

誕生日女孫プレゼント「漫画本」
未知の国へとどつぷり浸る
紫陽花の葉の上にかたつむり迫う
光る跡を残し去りゆく
膨らみし山ゆりの蕾は寝所なん
カナヘビ眠る真夏日の昼
青い空畑の仕事収穫だ
カエルも虫も飛びはねている
夏休み行事も遊びもコロナ渦で
孫は出掛けず「ひとりあそび」か
人通り少なき町並み笹ゆれし
七夕飾り風情あふれて

船岡 伊藤タイ子
船岡 永藤 文子
梶木 白石 光子
西船岡 星 裕子
西船岡 安ヶ平良三
本船岡 森田 真六
船岡 沢田 順子

川柳

鶯のさえずり耳に五・七・五
青じそは雨の朝がおいしそ
我国も外国なみに銃乱射
出かけるよ気持ちわくわく道の駅

西船岡 渡辺 晴江
船岡 小林 夢子
西船岡 後藤 文子
船岡 阿部美代子

ふらつくも太陽の村頑張るよ
夜の空火花100発コロナ勝てず
ほうずきを口にほうばり演奏会
吹き流し見上げて平和をお祈りす

西船岡 安ヶ平良三
梶木 村上 紫寿
梶木 永井 貞子
梶木 加藤 マサ

俳句

酸葉食む幼い頃の夕暮に
新涼や富士まで積まれ湯屋の桶
路地裏の足音とほのき秋の声
茸山を下り来し人と目が合ひぬ
仲秋の月をあげたる津波浜
縫りたる夫のかひなに赤蜻蛉

船岡 可沼 妙子
石母田星人
鎌形 清司
齋藤 善則
鈴木 三山
鈴木 清子

しづかなる闘志すつくと曼珠沙華
海照りの瀬戸の段畑青みかん
朝霧に霞む風景朝日絶つ
10階の部屋へは届かぬ夏の月
治まらず地球の嘆き蟬の声
のしのしと歩くせがれや甲虫

鈴木 幸子
峠 三枝子
平間 三郎
安藤 節子
安ヶ平奈津枝
飛鳥

俳句・川柳・短歌に興味があり、こうほう文芸に載せたい方は、はがきなどで9月14日(水)まで応募ください。 圃 まちづくり政策課 TEL.54-2111

広 告

広 告

広 告

広 告



我が校の学力向上の取り組み

西住小学校では、「分かる喜びや解決する達成感を得られる授業づくり、学びを実感できる児童の育成」をテーマに学力向上に取り組んでいます。

読書とパソコンはアナログとデジタルという対極にある感じがするかもしれませんが、児童の学力向上のため、どちらも積極的に取り入れ、学びを実感できる児童の育成を目指しています。

自分の宝となる表現力を身につける読書活動

町で実施している年2回の学力調査の結果を見ると、本校の児童は国語の「書く力」の分野において全国平均を上回っていることが分かりました。これは、児童の読書意欲と大いに関係があると思われます。本校では図書室の利用率がとても高く、4月から7月末までの貸出冊数は1,956冊で、児童一人あたり18冊になります。4月から50冊以上を読んだ児童には多読賞をあげて表彰しています。読書で得た言葉や表現を、自分の作文に生かし表現力が豊かになってきていると感じています。

2学期には図書祭りもあります。児童がより多くの本と出会い、読書で得た言葉や表現を自分の作文に生かすことを推奨し、ますます語彙力、表現力を身につける機会とすることができるよう、読書活動を推進していきます。



子どもたちが楽しく本に親しむ図書祭り

意見交換などに役立てる一人一台パソコンの活用

授業の中で一人一台のパソコンを、児童が自由に活用できるよう自分で資料を選択したり、各自が意見を交換したりできるような取り組みを行っています。例えば6年生の図工の授業では、パソコン上で絵を自由自在に拡大して鑑賞することは、どの児童も取り組むことができるようになっていました。また、作品を見て「気づいたこと」や「感じたこと」に関する友だちの感想を、自分の席に居ながらパソコン上で確認することにも関心を持って取り組んでいました。

コロナ禍でもパソコンを使うことで、いろいろな見方や考え方に触れることができる喜びを体験させたいと思っています。これからもパソコンを使ってお互いに意見交換する活動を授業に取り入れ、お互いの考えを広げたり、深めたりすることができるよう、先生たちと一丸となって取り組んでいきます。

〔西住小学校長 佐藤 真奈美〕

柴田町
Shibata Town

柴田町 LINE 公式アカウント

イベントや防災・防犯情報など、生活に役立つ情報をお届けします。

二次元コードを読み取り、友だち追加してください。

問まちづくり政策課 Tel.54-2111



広 告

町内で働く若い世代の方の思いや夢などを紹介するコーナーです。

思いを胸に Vol.104



コミュニケーションを大切に 信頼される仕事をしたい

1DAYリフォーム FOR YOU
熊谷 勇真さん（24歳）

今回は、一般住宅などのリフォームの設計施工全般を手掛ける1DAYリフォームFOR YOUの熊谷勇真さんを紹介いたします。

1DAYリフォームFOR YOUは、(株)畑山電気工業所が3年前にリフォーム専門の事業所として立ち上げた部門です。

入社5年目の熊谷さんは、当初(株)畑山電気工業所で電気工事の担当をしていましたが、1DAYリフォームFOR YOUが設立されてからは、リフォームの相談や提案、資材の発注、現場での職人さんや工事全体のスケジュール管理など、同社のリフォーム事業全般を一手に担っています。

「リフォーム工事における施工管理が主な仕事になります。電気工事の経験を生かし、換気扇やコンセントの取り付けなどの作業を行うこともあります。リフォームのご依頼はトイレなどの水回りの工事が多いですが、内装から外壁、外構工事までできることは幅広く対応しています」と話します。仕事で気を付けていることを伺うと、



トイレ用リモコンの取付を行う熊谷さん。



1DAYリフォームFOR YOU
柴田町船岡新栄2丁目3-3
TEL 54-3088

(株)畑山電気工業所のリフォーム部門として令和元年柴田ショールームをオープン。1日で完了するリフォームをコンセプトに一般住宅などの水回り、内外装のリフォーム工事を手掛ける。従業員5人

「先輩からは、何度も確認しながら仕事を進めなさいと教わってきました。資材の発注やスケジュール管理に間違いがあれば、お客さんが不利益を被ることになりかねません。また、現場の安全面からも確認はとても大切です。自分は性格的に忘れっぽいところがあるので、そこは特に気を付けているところですよ」と話してくれました。

昔から人に喜んでもらうことが好きだったという熊谷さん。「リフォームが完成した時にお客さんから喜んでくれたり、感謝や労いの言葉をかけていただく、仕事をしていて良かったという達成感が湧きます。これはお客さんと直接顔を合わせて進めていく仕事だからこそその醍醐味です」と笑顔で話してくれました。

物腰が柔かく丁寧に対応してくださった熊谷さん。これからもその人柄で、頑張ってください。

人口と世帯数
(令和4年8月1日現在)



37,065人
(前月比88人減)



18,479人
(前月比100人減)



18,586人
(前月比12人増)



16,216世帯
(前月比68世帯減)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。

特集 21

町長へのメッセージについてお知らせ
従来の紙の版に添付を示す
柴田町船岡新栄2丁目3番45号

2022年9月1日(7/31)号 発行/宮城県柴田町 編集/まちづくり政策課
〒989-1692 宮城県柴田町船岡中央2丁目3番45号 ☎0224-54-2111
FAX 0224-55-4172 URL https://www.town.shibata.ny.ag.jp/